

土壌の状態と施肥改善について

[分析結果]

項目	基準値	分析値	少ない・低い			基準	多い・高い		
			非常に	少ない	やや		やや	過剰	非常に
pH(H ₂ O)	6.0~6.5	7.5						◎	
EC	0~0.3	0.02				◎			
石灰	100~180	226					◎		
苦土	20~30	35					◎		
加里	15~25	16				◎			
リン酸	40~80	263						◎	
腐植	3~5	1.5		◎					

[考察・総評]

ネギ・コマツナ・ホウレンソウは生育の適性pHが異なります。
採取圃場はAとなっていますが、同一圃場で時期をずらして栽培しているのでしょうか。

- ① pHが高いです。
これ以上pHが上がらないようにアルカリ系の資材(石灰類など)の施用は控えてください。
可能であればなるべく深耕して下層土と混じるようにしてpHを下げてください。
- ② EC(硝酸態チツソの残存量の目安)は十分に下がっていますので、元肥は基準量を施用しましょう。
- ③ 塩基バランス(石灰・苦土・カリの含有量とバランス)については、カリは基準値にありますが石灰・苦土がやや多いためにバランスが崩れています。下表を参考にカリ単肥を施用してください。
なお一度バランスの調整を行ないましたらカリ単肥の連用はしないでください。
- ④ リン酸は明らかに過剰です。
元肥はチツソ成分に比べてリン酸成分が少ない資材を施用してリン酸過剰を抑制してください。
- ⑤ 腐植(有機物)は最低基準にも満たない量です。
非常に痩せた土壌ですので肥料持ちが悪く、追肥に頼る傾向になっていませんか。
腐植は毎作ごとに消費されます。積極的に腐植質を補給して土づくりしてください。
堆肥類は安価で良い資材ですが、原料や製造方法によってはpH上昇や、雑草や細菌汚染が懸念されます。
堆肥・コンポスト類を使用する場合は原料と製造方法を十分に確認してください。
腐植のエッセンスである腐植酸に富んだ資材で省力的に土づくりすることをお勧めします。

[施肥例]

区分	資材名	施肥量 (kg/10a)	備考
土づくり	元気サプリ 地力向上	200 ~ 300	堆肥2~3トン分の腐植酸を補給 腐植酸20%含有
塩基バランスの改善	硫酸カリ	40	石灰・苦土とのバランス改善
元肥	元気サプリ 有機配合844	180 ~ 200	チツソの50%以上が有機態

* 施肥例は県などの栽培指針をベースにしています。
実際の施肥量は品種特性、栽培方法などを考慮してください。

以上